



今回は、地域研究部の学会発表について報告します。

◇ 日本考古学協会総会高校生ポスターセッションに参加しました！

日 時： 2018 年 5 月 31 日(日) 17:00 ~ 18:00

主 催： 日本考古学協会 参加者： 地域研究部 9 名

内 容： 「よみがえる渡辺三三資料 ~文化財の保全と活用に関する実践報告~」

◇ 渡辺三三の略歴と旧蔵資料の紹介

渡辺三三氏（わたなべさんぞう、1890~1977）は、1910（明治 43 年）、旧満州（現中国東北地方）で小学校教員や撫順図書館長を務めるかたわら、撫順を中心とした地域の歴史を熱心に研究し、高句麗や女真の研究等で多大な成果を挙げた人物。

地域研究部では、今回、岐阜県安八郡輪之内町にお住いの渡辺充氏（三三のお孫さん）を訪問し、三三所蔵の考古遺物や写真、書籍を研究する許可をいただきました。いずれも貴重な資料であり、お預かりした所蔵品の整理・研究を進め、研究成果の一部を、2018 年 5 月 27 日に行われた日本考古学協会において発表しました。貴重な文化財は以下の通りです。



○考古遺物 新石器時代の磨製石器 10 点(石包丁、環状石斧、磨製石斧等)、銅鏃4点

○写 真 高句麗や女真等、旧満州の史跡調査に関わる写真

○書 籍 歴史・考古学研究の研究論文抜刷、学術書、雑誌等

◇ 当日のようす

明治大学駿河台キャンパスに到着し、高校生ポスターセッションの会場へ。朝から大勢の研究者が来場。緊張気味の生徒 9 名、研究者の前で代わる代わるプレゼンに臨みました。石器や青銅器の実測やトレース、古い写真の整理、近代日本のアジア政策と学問との関わりなど、自分たちの学びの成果を発表する中で、研究者の方々から質問や意見、具体的なアドバイスをたくさんいただきました。今回は本校を含め 12 校が参加。考古学や歴史学を志す高校生とも交流ができ、有意義な一日となりました。

◇ 生徒の感想より

■今回のポスターセッションを終えて一番に出てくる感想は、「今までの人生でこんなに言葉を発したことはない」です。途中で数えるのをやめたほど、大勢の人に説明を繰り返しながら、疲労は確かに大きかったものの、それを上回る楽しさを感じていました。

相手は百戦錬磨の専門家の方々で、当然始まった直後は緊張しました。しかし時間の経過に連れて自分でも驚くほど舌が回りだし、数人に説明を終える頃にはまったく物怖じせず話すことができるようになっていました。「自分の勉強し練習してきたことは、専門家に対しても通用する」。そう自信をもてた時には感無量でした。

高校生である身でこのような経験をさせてもらえたことは本当に有難いことでした。興味はあったものの他にやりたいことがあったため断念した人文学の分野に、少なからず残っていた未練を解消できたこと、多くの研究者の方々から「大学での研究と遜色ないことをやっている」とほめていただけたことは、私事ですが僕の誇りとなりました。直接今回の経験がこれからは役立つとは限りませんが、今後の僕の人生でこの経験がプラスに働くことは間違いのないと思います。この

ポスターセッションを支えてくださった全ての方々に感謝をし、引き続きの研鑽を恩返ししたいと思います。

■僕は地域研究部が「楽な部活」だと思って入ったので、今回の活動は想定外でした。しかし、実際にやってみるといい経験になったと思います。例えば、人前で話すことに慣れることができたことです。約10人以上の人にプレゼンを行なったので、この経験を学校のSGH研究発表にも生かしていきたいです。それに発表のときに質問をされるのが少しだけ楽しく、うれしく感じられたので、今までとは違う自分が見えた気がしました。他にも、研究を知るだけでなく時代背景についても学ぶことが大事だと知れました。今後、このような機会があったらまた携わりたいと思いました。

■今回のプレゼンを通して思ったことは、とりあえずいろいろ学ぶことができたということです。やはり仲間内でやっているだけでは気づけないこともあり、指摘されて見えてきた課題を今後の企画展に向けて改善していきたいと思います。例えば、三三さんは見つけた石器を小学生の教育に活用したのかなどです。又、今後研究していく中で細かいことでも「どうしてこうなのか」ということに対する証拠と確かな正確さを大切にしていきたいと思いました。

■今日、初めて、専門家の前で研究発表して、とても緊張しましたが、最後までやりきることができて良かったです。とても貴重な経験をすることができました。また、会場に駆けつけてくださった関高の先輩からは、今後の進路にも触れたアドバイスをいただいたので、進路決定などに生かしていきたいと思いました。実測やトレースなども大変だったけど、貴重な体験をすることができて嬉しかったです。

■他の高校との交流や、専門家の説明を聞くことはポスターセッションならではの体験で、来年もまた行きたいと思いました。国立博物館や明治大学の博物館など、岐阜県にいては到底見ることの出来ないような様々の歴史的遺産を見学できたので、今日の充実した1日を通して学んだ歴史をしっかりと理解したいと思います。

